

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公表番号】特表 2016-503737 (P2016-503737A)

【公表日】平成 28 年 2 月 8 日 (2016.2.8)

【年通号数】公開・登録公報 2016-009

【出願番号】特願 2015-550802 (P2015-550802)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

C 0 9 J 7/02 (2006.01)

C 0 9 D 201/00 (2006.01)

C 0 9 D 7/12 (2006.01)

C 0 9 D 5/02 (2006.01)

【 F I 】

B 3 2 B 27/00 L

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 7/12

C 0 9 D 5/02

B 3 2 B 27/00 M

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 22 日 (2016.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(1) 第 1 の表面を有し、紙を備える基体と、(2) 前記基体の前記第 1 の表面の少なくとも一部上の分離層と、を備え、前記分離層が、約 - 3 0 ~ 約 + 3 0 の T_g を有する水分散性バインダーの層と、剥離剤と、を含み、前記水分散性バインダーの層が、該層に部分的に埋め込まれ該層から突出している粒子を含み、前記分離層のコーティングが、約 1 0 ~ 約 5 0 ミクロンの平均 H、約 5 0 ~ 約 1 0 0 ミクロンの平均 E C D、及び約 5 0 ~ 約 1 5 0 ミクロンの平均 N N D を有する、物品。

【請求項 2】

前記基体が第 2 の表面を有し、前記物品が、(3) 前記第 2 の表面の少なくとも一部に接着剤を更に備える、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 3】

前記粒子が、約 2 0 ~ 約 4 0 ミクロンの平均粒径を有する、請求項 1 に記載の物品。

【請求項 4】

(1) 請求項 1 の物品であり、前記基体が水分散性材料を含む、物品を提供する工程と、前記物品の使用後に、(2) 前記物品を水中に入れる工程と、(3) 前記物品を水中に分散させる工程と、(4) 前記基体の前記水分散性材料を回収する工程と、を含む、方法。

【請求項 5】

(i) 前記基体が第 2 の表面を有し、前記物品が、前記第 2 の表面の少なくとも一部に、接着剤を更に有し、(i i) 前記物品が、(A) ロールの形に巻かれている前記物品を

含むアセンブリの形態、又は（Ｂ）上側の物品の第２の表面が下側の物品の第１の表面と接触している同様の物品の積層体を構成している前記物品を含むアセンブリの形態であり、前記方法が、前記物品を水中に入れる工程の前に、前記アセンブリから前記物品を分離する工程を更に含む、請求項４に記載の方法。